

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
令和4年度 第2回情報共有会合議事概要

1. 日時：令和5年3月16日(木) 10:00～11:30
2. 会議形式：ウェブ会議システムによるオンライン開催
3. 参加者 32名
北海道大学（2名）、北海道開発局（8名）、北海道運輸局（1名）、札幌管区気象台（1名）、第一管区海上保安本部（1名）、北海道地方環境事務所（2名）、北海道（6名）、札幌市（1名）、日本測量協会北海道支部（1名）、北海道測量設計業協会（1名）、北海道G空間情報技術研究会（1名）、日本写真測量学会北海道支部（2名）、北海道産学官研究フォーラム（1名）、スペーシャリストの会（1名）、Envision環境保全事務所（1名）、国土地理院（2名）
4. 議事
 - ① 挨拶（北海道地方測量部長）
 - ② 話題提供
 - 1) 衛星リモートセンシングを利用したスマート水産業を実現するシステムの開発及び普及
（北海道大学北極域研究センター研究推進支援教授 齊藤 誠一様）
 - 2) 地理空間情報に関する産学官の取組みと『北海道航空・宇宙研究会』の立ち上げについて
（一般社団法人北海道産学官研究フォーラム 副理事長 藤原 達也様）
 - ③ 質疑応答及び意見交換
 - ④ 挨拶（北海道地方測量部長）
5. 議事概要

北海道大学北極域研究センター研究推進支援教授 齊藤様からは、衛星リモートセンシングを利用したスマート水産業を実現するシステムの開発及び普及について、話題を御提供頂いた。ICT技術（衛星リモートセンシング×数値予測モデル、海洋GIS）の利活用により、ピンポイントの漁場予測やホタテガイ養殖の生産性向上、作業効率向上の重要性について御報告頂いた。

官部門の参加者から「齊藤先生が研究されている情報は、現場の漁業者の方が大変喜んでいる」といった御意見を頂いたほか、産部門の参加者から「将来的に実用化となってくると採算化、システムの維持の計画など、どのように収益を上げてビジネスをやっていくのか」という質問などがあった。

一般社団法人北海道産学官研究フォーラム 副理事長 藤原様からは、北海道産学官研究フォーラムの設立の経緯や各研究会の概要について、御報告頂いた。これまで、北海道産学研究フォーラムが培ってきた各研究会や各部会の幅

広い知見・コミュニティを活かし、新たな産業分野の産学官における利活用促進のため『北海道航空・宇宙研究会』の設置について御報告頂いた。

官部門の参加者から「宇宙港構想について、国内外で、別に同じような構想、名乗りを上げている競合相手がいるのか」という質問などがあつた。

北海道大学橋本教授（地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会座長）からのコメントとして、「今日の2講演とも経済的に豊かにするためのプロジェクトだけではなく、環境負荷も小さくして、全体として良くしようと、そういうことをトータルでやっていこうという立場でお話だったと思う。そういう立場を明確にしつつ、これからも進めて頂けると北海道もしくは日本、世界にとって素晴らしいことだと思う」との発言を頂いた。